

【会場】

九州大学病院（日本）、
福岡赤十字病院（日本）、
大阪赤十字病院（日本）、
佐賀大学（日本）、
兵庫医科大学（日本）、
京都大学（日本）、
藤田医科大学（日本）、
佐賀県医療センター好生館（日本）

【概要】

藤田医科大学(F)、京都大学(K)、九州大学(Q)と、その関連施設を中心として毎年行われてきた消化管外科の研究会で、今回は2回目の遠隔開催となった。進行胃癌に対する術前化学療法をメインテーマとして、特別講演2題と各施設からの発表7題が行われた。画像・音声ともにスムーズであり、ディスカッションも盛んに行われた。



大阪赤十字病院の様子。
撮影場所：九州大学病院



兵庫医科大学の様子。
撮影場所：九州大学病院

外科領域のRCTの難しさ—3

手術コンセプト、内容、周辺機器が変化する。

RCT開始
5年 | 登録
登録終了
10年 | Follow-up
公表

薬の成分は変わらないが
手術の成分は変化する

提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



提示された手術動画。
撮影場所：九州大学病院



佐賀大学からコメントする医師。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院の様子。
撮影場所：九州大学病院